

信者宅増改築祈願祭詞

此の所に神籠立て、招ぎ奉り令せ奉る掛巻くも畏
き親神天理王命の御前に恐み〳〵も白さく

親神の広き厚き御恵を嬉しび奉り辱けなみ奉り

横浜市西区〇〇町三丁目一七〇番地七号なる△△

△△家はも早くよりこれのお道に引き寄せられ

御教の定規に合せ教祖ひながたを思い浮かべつ、

各も〳〵心の成人を計り親族家族共に朝な夕ない

と睦まじく明るく暮らされしが この度長年のつ

とめ尚一段と稔りて こゝに木造瓦葺にて二階三

部屋を芯とする十五坪の増築併せ十坪に及ぶ改築

を加え 完成後は三五坪に届く堂々たる住宅ふし

んを設け奉らむと 今日の日と増改築祈

願の御祭仕え奉り 御酒御食海川山野の種々の味

物を捧げ奉りて拝がみ奉らくを諾い聞し食し給い

これより後も家族親族共々身も心も壮健に起き伏

し給わむ事はももとより 雨風の難み天災地変の

災あらむにも揺ぎ損わるゝ事なく浪布虫の禍あら

しめ給わず千代万代に堅磐に常磐に守り幸い給い

△△家にある陽気ぐらしの姿が周囲の社会に次々

とその輪を拡ごらしめ給えと恐み〳〵も乞い祈み

奉らくと白す